

## 第 6 学年 社会科学習指導案

日 時：平成 21 年 9 月 9 日（水）5 校時  
場 所：遠野市立遠野小学校  
学 級：6 年 1 組（男子 13 名，女子 9 名）  
授 業 者：武 田 亮 一（遠野小学校）  
協同研究者：菅 原 良 和（上郷小学校）  
森 光 舞 子（宮守小学校）

### 1 単元名

3 新しい日本の国づくりを見つめよう ～（1）新しい時代の幕あけ～

### 2 単元について

#### (1) 本単元の位置づけ

本単元は、第 6 学年の目標（1）「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする」を受けて設定したものである。さらに、内容の（1）カ「黒船の来航，明治維新，文明開化などについて調べ，廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い，欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること」を取り扱うものである。

幕末から明治期における，黒船の来航，明治維新，文明開化，自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，国会開設などの歴史的事象を取り上げ，これらを具体的に調べることを通して，我が国は，廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い，欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにすることがねらいである。黒船の来航をきっかけに開国した日本が，欧米の文化を取り入れ近代化を進める中で，憲法の制定や産業の発展などをとげていった頃の世の中の様子や人々の暮らしについて，理解と関心を深めさせていきたい。

#### (2) 教材について

黒船の来航が大きなきっかけとなって江戸幕府が倒れ，天皇を中心とした明治政府が作られた。

新政府は，廃藩置県，四民平等，徴兵，地租改正などの改革を進め，西洋を手本にした新しい国の仕組みを整えていった。また，文明開化が起こり，まちの暮らし，人々の暮らし，学校教育の変化など，新しい時代になって西洋風のものや考え方が多く取り入れられた。

しかし，社会のしくみが大きく変わっていく中で，各地で反乱が起こった。政府は軍隊でおさえたが，その後，言論で訴える自由民権運動が全国に広がっていく。政府はこの運動を取り締まったが，運動はますます盛んになり，1889 年に大日本帝国憲法が制定され，翌年，国会が開設されることとなった。この頃の日本は，政治・経済，国際関係等，社会の変化が急速な展開を見せた時代といえる。

#### (3) 児童の実態及び指導観

本学級では，ほとんどの児童が意欲的に社会の学習に取り組んでいる。前単元「武士の世の中をさぐる」では，武士による政治の始まりから三人の武将による全国統一，江戸幕府の政治と人々の成長までを，意欲的に調べ学習を行ったり積極的に発言をしたりしていた。しかし，問題を追究する場面では，資料の読み取りを苦手としている児童が多い。そのために，資料が十分に活用されず，歴史的な事象を多面的に捉えることができていない様子が見られる。

そこで，本単元の指導にあたっては，適切な資料を選択して提示の仕方を工夫するとともに，読み取る視点を持たせたり時間を十分に与えたりしながら，一人一人が自分の力で読み取ることができるようしていきたい。また，問題解決的な学習を充実させ，調べたことや考えたことを話し合う活動を通して，社会的事象の持つ意味を多面的に捉えさせていきたい。終末のまとめの活動では，学習を振り返る場を設定し，分かったことや考えたことを再構成して自分の言葉で表現させ，確かな力を育てていきたい。

### 3 単元の目標

- (1) 新しい世の中をつくり上げようとした人物の働きに関心をもち、日本の近代化の様子を意欲的に調べようとする。 **【関心・意欲・態度】**
- (2) 明治政府が近代国家としての仕組みを整えていった様子を、当時の日本社会や外国との関係から考えることができる。 **【社会的な思考・判断】**
- (3) 年表や絵図などの資料を活用し、明治政府の諸政策や開国に力を尽くした人物の業績、当時の人々の生活などについて調べることができる。 **【観察・資料活用の技能・表現】**
- (4) 明治政府が諸改革を行い、近代的な国家づくりをすすめていったことを理解することができる。 **【社会的事象についての知識・理解】**

### 4 単元の指導・評価計画（7時間扱い）

時	目標	展開の概要	評価規準
1	「黒船が来た」 黒船の来航と幕府の対応、欧米各国との交易が始まる流れをつかむことができる。	・黒船やペリーについて人々はどう受け止めたかを予想する。 ・ペリーの来航の目的とその影響について調べる。	ペリーの来航による社会の変化に気づき、新しい時代の幕開けについて意欲的に調べようとしている。 <b>【関・意・態】</b>
2	「江戸幕府がたおれる」 国内外からの力によって、武士の世の中が終わっていく経緯を理解することができる。	・打ちこわしの絵から開国後の日本の様子を予想する。 ・人々の不満や新しい政治を目指す動きから、江戸幕府がどうなったかを調べる。	開国による人々の暮らしの変化や倒幕の様子を理解している。 <b>【理解・知識】</b>
3	「新しい政府をつくる」 明治政府の行った諸改革の内容を理解することができる。	・五箇条の御誓文から明治政府が目指した政治を調べる。 ・廃藩置県や四民平等から、新しい社会体制について調べる。	新政府の進めた改革の目的と内容について理解している。 <b>【知識・理解】</b>
4	「西洋に追いつけ」 明治政府が、近代的な軍隊や工業を興したことを、新しい国づくりと関連付けて考えることができる。	・鉄道や製糸工場を調べ、外国の技術や知識を取り入れようとしたことをつかむ。 ・西洋に追いつくために日本がとった政策をまとめる。	政府が国力を強化したことと、西洋諸国に負けない国づくりを目指したことを関連付けて考えている。 <b>【思考・判断】</b>
5 (本時)	「まちの暮らしが変わった」 人々の暮らしの変化を調べ、文明開化の様子をとらえることができる。	・小学校と寺子屋の様子の違いからくらしの変化の様子に気付く。 ・絵や年表などの資料から文明開化の様子を具体的に調べる。	絵図や年表などの資料から、くらしの変化の様子を読み取って表現している。 <b>【技能・表現】</b>
6	「自由民権運動が広がる」 自由民権運動が高まった理由を考え、人々の政治に対する願いについてとらえることができる。	・西南戦争がなぜ起こったのか調べる。 ・自由民権運動の演説会の絵から、人々が何を求めていたのかを考える。	西南戦争や自由民権運動を調べ、政治に対する人々の願いについて考えている。 <b>【思考・判断】</b>
7	「国会が開かれる」 大日本帝国憲法発布までの経緯や特徴を調べ、政治がどのように変化したのか考えることができる。	・五日市憲法の内容を読み、人々の願いについて考える。 ・大日本帝国憲法発布までの経緯やその特色について調べる。	人々の望む政治の姿と大日本帝国憲法を比較して、その後の政治の変化について考えている。 <b>【思考・判断】</b>

### 5 本時の指導

#### (1) 目標

文明開化により、西洋風の文化が入ってきたことや社会の様子が急激に変化したことを捉えることができる。

#### (2) 構想

本時では、明治時代になり世の中や人々の暮らしが変化していった様子や福沢諭吉の業績を調べるなどを通して、日本が欧米から文化を取り入れて近代化を図ったことについて指導していく。

指導にあたっては、問題解決的な学習が児童の思考の流れに沿って充実するように配慮しながら展開していきたい。特に、調べる場面では、既習の知識や技能を使って資料を読み取りながら追究

させていきたい。また、学習を振り返る場面では、視点を持たせて書かせるようにし、学習を振り返って表現する活動を通して思考力や表現力を育むとともに、基礎基本の定着を図っていきたい。

(3) 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点	資料等
問題の把握	1 小学校と寺子屋の様子の違いについて話し合い、学習問題を設定する。 (5分)  明治になって、人々のくらしはどのように変わったのだろう。	・明治時代の小学校と寺子屋の様子を比較しながら、大きく変わったことに気付かせ、くらしの変化を追究しようとする意欲を引き出す。	① 絵図(明治時代の学校) ② 絵図(寺子屋)
問題の追究	2 くらしの中にどのような変化が表れたのか予想し、話し合う。 (8分)  3 くらしの中にどのような変化が表れたのか調べ、話し合う。 (1) 衣食住について 洋装, 断髪, 洋食, 建物等 (2) 制度や文化について 鉄道, 電話, 郵便, 新聞等 (3) 考え方について 福沢諭吉の学問のススメ (25分)	・これまでの学習や絵図を手がかりに考えさせる。ノートへの記述内容を把握するとともに必要に応じて助言する。 ・話し合いをもとに調べる視点を整理する。  ・江戸の時代の終わり頃と明治時代の初期の街並みを比較しながら、変化の様子を具体的に捉えさせる。 ・年表から明治時代に始まった制度や文化を調べ、思考を広げさせる。 ・目に見える変化ばかりでなく、福沢諭吉の著書を取り上げ、当時の人々の考え方の変化にも気付かせる。読み取りにくい部分については教師が説明を加える。	・ノート  ③ 絵図(開港した頃の横浜) ④ 絵図(明治初め頃の東京) ⑤ 年表(明治時代に始まった制度や文化) ⑥ 読み物(福沢諭吉と学問のススメ)
まとめ・発展	4 本時の学習を振り返る。 (6分)  5 明治, 大正時代の遠野の様子を知る。 (1分)	・本時の学習の振り返りを書かせることにより、自分の考えの変容や高まりを捉えることができるようにする。望ましいまとめ方を取り上げてよさを広める。 ・明治や大正時代の遠野の写真から、文明開化がやがて地方にも及んだことに気付かせ、身近な歴史に関心を持たせたい。	・ノート  ⑦ 写真(遠野の街並み)

(4) 評価規準

評価規準	具体の評価規準		努力を要する児童への手立て
	十分に満足できる	おおむね満足できる	
【観察・資料活用の技能・表現】 ・絵図や年表などの資料から、くらしの変化の様子を読み取っている。 (3の学習場面)	・衣食住や制度, 文化の様子とともに, 考え方の変化を具体的に読み取っている。	・衣食住や制度, 文化の様子を具体的に読み取っている。	・服装や建物などに着目させ, 2枚の絵図を比べながら変化に気付かせる。
【知識・理解】 ・西洋風の文化が入り, 社会の様子が急激に変化していったことを理解している。 (4の学習場面)	・社会の様子の変化を制度や文化とともに, 考え方の面からも捉えて記述している。	・社会の様子の変化を制度や文化の面から捉えて記述している。	・板書を手がかりにさせる。 ・3の学習場面の資料から分かったことを教師と一緒に確認し, 書かせる。